Kodak

PIXPRO AZ362

Digital Camera

取扱説明書

警告

適合宣言

責任団体： JK Imaging Ltd.
住所： 1411 W. 190th Street, Suite 550, Gardena, CA 90248, USA
カメラに関する情報の提供： www.kodakcamera.jkiltd.com

米国の顧客へ

FCC基準に準拠して家庭または事務所で使用する

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます。(1) 電波障害を起こさないこと。(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

ヨーロッパの顧客へ

「CE」マークは本製品が安全、健康、環境および顧客保護に関して欧州要件に準拠していることを示しています。「CE」マークの付いたカメラはヨーロッパでの販売を意図しています。

WEEE.[(コマ付きのごみ箱とx印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

本マニュアルについて

コダックデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- JK Imaging Ltd. は本マニュアルの著作権を保有します。本マニュアルは、一部でも再生したり、受信システムで転送、転写または保管、あるいは、いかなる形態または方法によっても、JK Imaging Ltd. の書面による事前承認なしに、言語やコンピュータ言語に翻訳することはできません。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、コダックデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。
- 情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルは次の記号が使用されています。

知っていると役に立つ情報を示します。

カメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが高いと想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は注意を促す内容を告げるものです。

⊘ この記号は禁止の行為を告げるものです。

カメラの取扱いについてのご注意

⚠警告

⊘ 分解や改造しない。感電したり、けがをするおそれがあります。

⊘ 落下などで破損し内部が露出したときは、露出部に手を触れない。感電したり、ケガをする原因となります。

⊘ 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさない(防水カメラを除く)。火災、感電の原因となります。

⚠ カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切って、電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 煙が出る、異臭がするなどの異常が発生したときはすみやかに電池を取り出します。やけどや火災の原因になります。電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。

⊘ 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在する恐れのある場所では使用しない。引火、爆発の原因となります。

⊘ フラッシュを人の目（特に乳幼児）に近付けて発光しない。視力障害の原因となります。

⚠ 幼児の手の届かないところに保存します。メモリーカードや電池などの小さな付属品を誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだときはただちに医師の診断をうけます。

⊘ 指定外の電源は使わない。火災や感電の原因となります。

⚠注意

⊘ ぬれた手でカメラを操作しない。感電の原因となります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電池を外して保管します。電池の液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。

航空機内で使うときは、離着陸時の電源をOFFにします。本機器が出す電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれがあります。

付属のCD－ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しない。機器に損傷を与えたり、ヘッドフォンなどを使用したときは、大音響により聴力障害の原因となります。

電池についてのご注意

危険

使用中に本体が過熱するときは、すぐにカメラの電源を切り、電池を取り出してください。充電中に電池が過熱するときは、電源を切り、電池を取り出してください。

電池を火の中に投下したり、加熱しない。液漏れ、破裂、火災の原因となります。

電池をショート、分解しない。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

専用の充電器を使用します。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない。ショート、発熱し、火傷やけがの原因となります。

電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけます。目に傷害を与える原因となります。

警告

水につけたり、端子部を濡らさない。液漏れ、発熱の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止します。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

外装にキズや破損のある電池は使用しない。破裂、発熱の原因となります。

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない。破裂、液漏れの原因となります。

⚠ 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流します。皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意

⚠ 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておきます。液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 警告

⊘ 充電器を分解したり、修理や改造をしない。感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

⊘ 落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れない。感電したり、破損部でケガをする原因となります。

⚠ 本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜きます。火災、やけどの原因となります。

⚠ 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ります。火災の原因になります。

⊘ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。

⊘ 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）などの電源に接続して使わないこと発熱、故障、火災の原因となります。

⚠ 注意

⊘ 濡れた手でさわらない。感電の原因になることがあります。

⊘ 充電器を布などで覆った状態で使用しない。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行います。電源プラグを抜かないで行うと、感電、ケガの原因となることがあります。

⊘ メモリーカードの取り出しは必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。若しオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。

⊘ プログラム（F/W）をアップグレードする時は、カメラの電源をオフにさせないでください。データや画像がこわれる原因となります。

⊘ メモリーカードの装填は、よくカードスロットを見ながら慎重におこなってください。メモリーカードを乱暴に取り扱うことは禁止です。

目次

警告 1

安全上の注意 2

目次 5

準備をする 9

付属品一覧 9

ショルダーストラップとレンズキャップを取り付ける 10

各部名称 11

電池とメモリーカードの装填 14

電池を充電する 16

電源をオン/オフに切り換える 17

液晶モニターに関するご注意 17

言語と日時の設定.................................. 18

言語設定 18

日時設定 18

確定した言語を変更する場合 18

確定した日時を変更する場合 19

モードを使用する 20

画面の切り替え表示................................ 20

液晶モニター画面表示............................. 21

静止画撮影モード表示.......................... 21

動画撮影モード表示............................. 23

再生モード表示 24

画面の切り替え表示............................. 24

モードダイヤルの使用............................. 25

自動モード 26

プログラム AE 26

シャッター優先 27

絞り優先 27

手動モード 28

美肌... 28

パノラマモード 29

シーンモード (SCN) 30

自動シーンモード (ASCN) 33

白黒... 34

カスタム設定 35

基本操作 36

ズーム機能を使用する 36

AFモード 37

マクロモード 37

セルフタイマーモード 38

フラッシュモード.................................... 39

ホワイトバランス.................................... 40

連写.. 41

機能設定 42

露出補正... 42

ISO感度... 43

シャッター速度 43

絞り値... 44

動画撮影ショートカット 44

iボタンの機能メニュー 45

再生モード 46

静止画と動画を見る................................. 46

サムネイルビュー.................................... 47

画像を拡大する（静止画専用） 48

スライドショー 49

連写の再生 49

画像を消去する方法................................ 50

操作メニュー 51

静止画メニュー 51

測光方式... 51

画像サイズの設定 52

手ブレ補正 53

コンティニュアス AF 53

HDR 54

自動シーンモード 54
設定メニュー 56
画質の設定 56
AFアシストビーム.............................. 57
デジタルズーム 57
日付写し込み 57
レビュー 58
カスタム設定 58
動画メニュー 59
測光方式 59
画像サイズの設定 60
手ブレ補正 60
動画設定メニュー................................. 61
デジタルズーム 61
再生メニュー 62
HDR 62
赤目軽減 63
画像回転 63
画像サイズの変更（リサイズ） 64
色彩 64
再生設定メニュー................................. 65
保護 65
消去 66
DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット) 67
画像のトリミング 68
カメラ設定メニュー 69
操作音 70
省電力 70
言語設定 70
ワールドタイム 71
日時設定 71
ファイル・ソフトウェア 71
フォーマット 71
カードへコピーする 72

ファイル番号 72
リセット設定 73
FWバージョン.................................. 73

カメラ接続 74

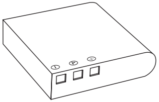
PCに接続する....................................... 74
USBモードを設定する......................... 74
PCにファイルを転送する 74
ビデオシステム 76
Eye-Fi SD カード接続モード..................... 76
HDMI接続のサポート.............................. 77
カメラをHDMI TVに接続する 77
PictBridge互換プリンターに接続する 78
USBモードを設定する......................... 78
カメラとプリンターを接続する 79
PictBridgeメニューを使用する................... 80
日付印刷 80
日付なし印刷 81
サムネイル画像を印刷する 82
DPOF画像の印刷 83
USBケーブルを取り外す 83

付録..84

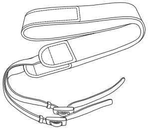
仕様.. 84
エラーメッセージ.................................. 88
困ったときには 90

付属品一覧

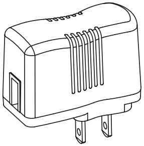
パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。



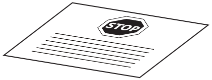
充電式リチウムイオン電池



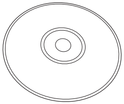
ショルダーストラップ



AC アダプター



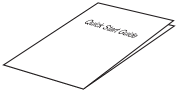
サービスカード



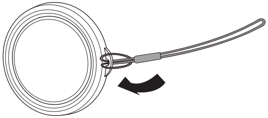
CD-ROM

USBケーブル

保証書

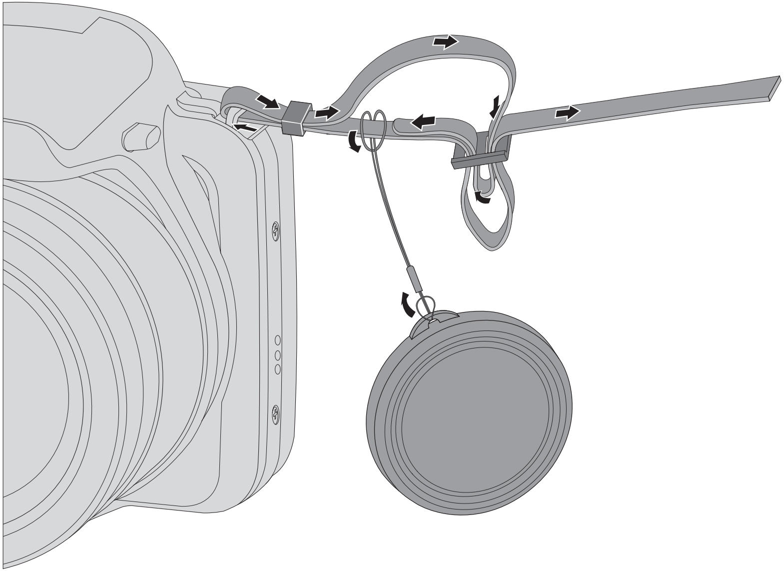


かんたん操作ガイド

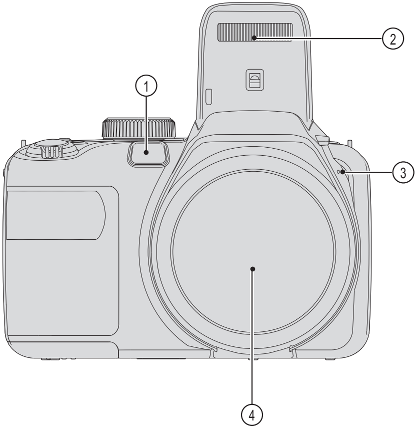


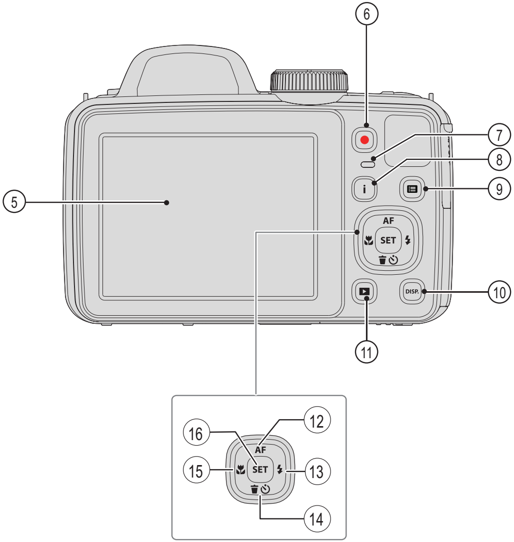
レンズキャップとストラップ

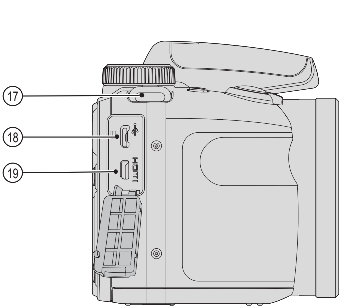
ショルダーストラップとレンズキャップを取り付ける

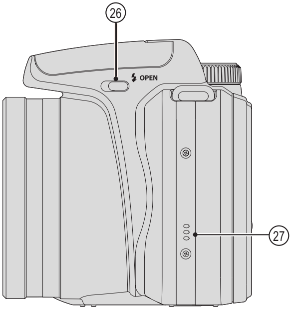


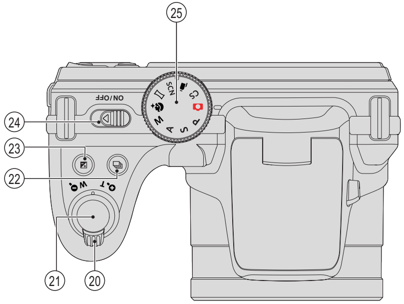
各部名称

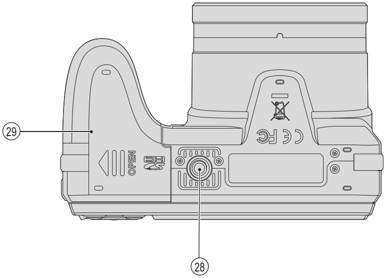





17
18
19


26
OPEN
27

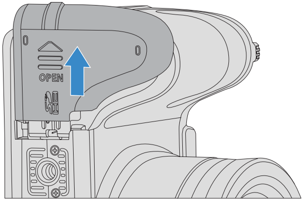

25
ON/OFF
SCN
24
23
22
21
20

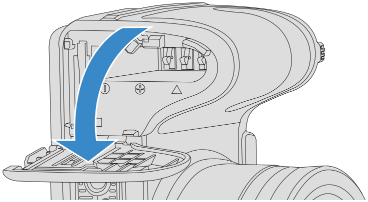

29
OPEN
28

1	AFアシストビーム/ タイマーインジケーター	11	再生ボタン	21	シャッターボタン
2	フラッシュ	12	AFモード/機能ボタン上	22	連写ボタン
3	マイク	13	フラッシュモード/機能ボタン右	23	露出補正ボタン
4	レンズ	14	消去/セルフタイマー/機能ボタン下	24	電源スイッチ
5	液晶モニター	15	マクロモード/機能ボタン左	25	モードダイヤル
6	動画ボタン	16	SET ボタン	26	フラッシュボタン
7	電源ランプ	17	ストラップ取り付け部	27	スピーカー
8	i ボタン	18	USB 端子	28	三脚ねじ穴
9	Menu ボタン	19	HDMI 端子	29	電池カバー
10	DISP.ボタン	20	ズームレバー		

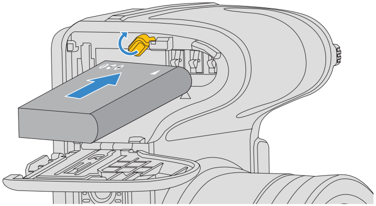
電池とメモリーカードの装填

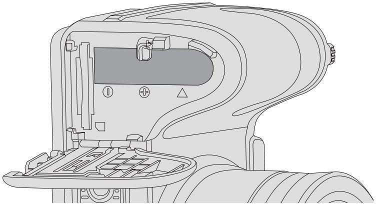
1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。



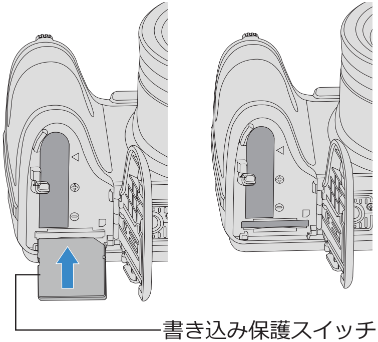


2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池の側面を使用してストッパーを矢印方向に逃がし、電池を正しく装填します。



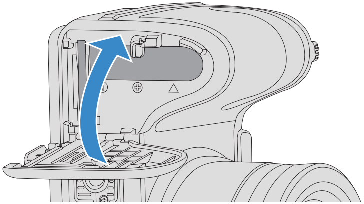


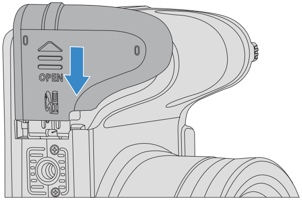
3. 図に示すように、メモリーカードをメモリーカードスロットに装填します。



- メモリーカード(SD/SDHC)は別売りです。カメラの付属品ではありません。市販のメモリーカードを御求めください。4GBから32GBまで使用可能です。
- メモリーカードを取り外すには、電池カバーを開け、指で軽く奥に押し込むと、カードが押しだされます。まっすぐ引き抜きます。
- SDカードには書き込み保護スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にするとデータの書き込みや消去を禁止します。撮影時や画像を消去する時は「Lock」を解除してください。

4. 電池カバーを閉じます。

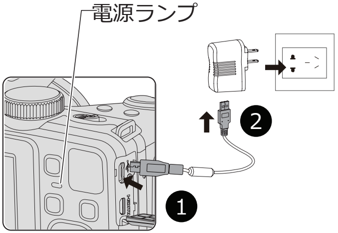




電池を充電する

電池を装填し、充電する前に、カメラの電源はオフにしてください。

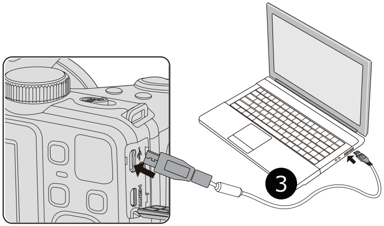
1. USBケーブルを利用して、カメラとACアダプターを接続します(ACアダプターのプラグの形状は国や地域によって異なります)。
2. ACアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。



充電はカメラの電源をオフにして行ってください。

長い間使用されなかった電池は、付属のACアダプターで、充電してから使用してください。

3. カメラの電源オフ後に、USBケーブルでカメラをPCに接続して充電することもできます。

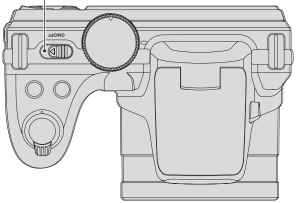


電源ランプ:
赤: 充電中
緑: 充電完了
電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は 4時間以上行ってください。

0℃～40℃の室内で電池を充電してください。

電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源スイッチをONからOFFにスライドさせます。カメラの電源をオフにするには、電源スイッチを再度ONからOFFにスライドさせます。



液晶モニターに関するご注意

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、21ページの「液晶モニター画面表示」を参照してください。

液晶モニターに関するご注意:

液晶モニターの製造に当たっては、ほとんどのピクセルが操作するように、きわめて高い精度のテクノロジが使用されています。しかし、液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点 (黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることはありません。

液晶モニターが水で濡れることを避けてください。濡れてしまった時は、清潔な、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

液晶モニターが損傷した場合、モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

- 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り、石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を 15 分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

言語と日時の設定

言語設定

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターに、Language画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、言語を設定します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。
5. 言語設定が確定後、液晶モニターに、日付/時刻画面が表示されます。

日時設定

1. 機能ボタン上/下を押して、「年月日」の表示順を選択します。
2. 機能ボタン右を押して年月日、時刻を選択し、機能ボタン上/下を押して、値を合わせます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

確定した言語を変更する場合

1. カメラの電源をオンします。
2. ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して を選択し、 SET ボタンをを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「Language/言語」を選択し、 SET ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
5. 機能ボタン上/下を押して、Language/言語を選択します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

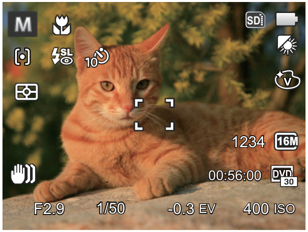
確定した日時を変更する場合

1. カメラの電源をオンします。
2. ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、を選択し、SET ボタンを押します。
3. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、を選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、「日付/時刻」を選択し、SET ボタンあるいは機能ボタン右を押します。
5. 機能ボタン上/下、左/右を押して、値を変更します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

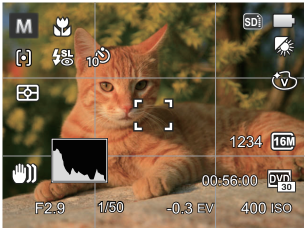
画面の切り替え表示

DISP. ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

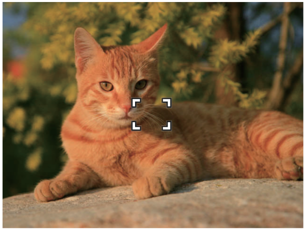
撮影モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。



機能の情報表示



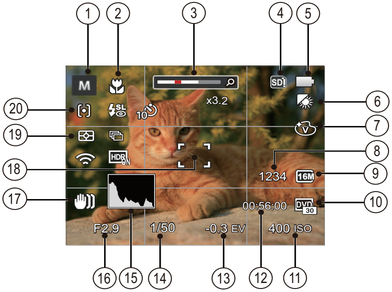
グリッドガイドとヒストグラムの表示

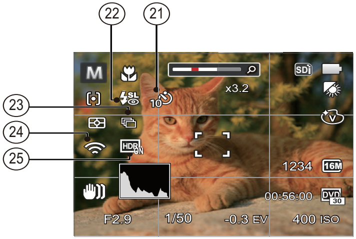


情報表示なし

静止画撮影モード表示

撮影モードアイコン： P S A M SCN CS





1 撮影モードアイコン

	自動モード		美肌
P	プログラムAE		パノラマモード
S	シャッター優先	SCN	シーンモード
A	絞り優先	CS	カスタム設定
M	手動モード		

2 マクロモード表示
3 ズームインジケーター
4 メモリーカード/内蔵メモリー表示
5 電池残量表示
6 ホワイトバランス（ P S A M モードでのみ使用可能）
7 色彩（ P S A M モードでのみ使用可能）
8 撮影可能枚数
9 静止画画像サイズ
10 動画画像サイズ
11 ISO感度（ P A M モードでのみ使用可能）
12 撮影可能時間

13 露出補正（P S A モードでのみ使用可能）
14 シャッター速度（ S M モードでのみ使用可能）
15 ヒストグラム
16 絞り（ A M モードでのみ使用可能）
17 手ブレ補正
18 AFフレーム
19 測光方式

AiAE

スポット

中央部重点

20 AFモード

シングル AF

マルチ AF

自動追尾 AF

21 セルフタイマー表示

オフ

2秒

10秒

笑顔

22 フラッシュモード表示

自動発光

強制発光

スローシンクロ

スローシンクロ+赤目軽減

赤目軽減

23 連写

一枚撮り

連写

超高速連写 (VGA)

高速連写 (4M)

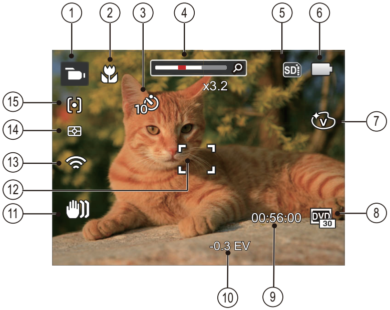
インターバル撮影（30秒/1分/5分/10分）

24 Eye-Fi 表示(送信)

25 HDR（ P S A M モードでのみ使用可能）

動画撮影モード表示

撮影モードアイコン:



1 撮影モードアイコン

2 マクロモード表示

3 セルフタイマー表示

オフ

10秒

4 ズームインジケーター

5 メモリーカード/内蔵メモリー表示

6 電池残量表示

7 色彩

8 動画画像サイズ

9 撮影可能時間

10 露出補正

11 手ブレ補正

12 AFフレーム

13 Eye-Fi 表示(送信)

14 測光方式

AiAE

スポット

中央部重点

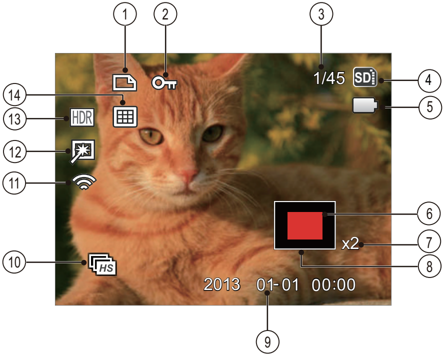
15 AFモード

動画の撮影には、最高の画質を得るためにClass4以上のSDHCカードの使用をお勧めします。カメラの内蔵メモリーには制限があり、時々画像が途切れてノイズが発生し、画質の低下を招きます。

録画中に、光学ズームとデジタルズームで調整することができます。デジタルズームを4倍（合わせて144倍）に調整できます。

再生モード表示

再生モードアイコン: ▶



1 DPOF 印刷
2 保護
3 画像番号/総画像数
4 メモリーカード/内蔵メモリー表示
5 電池残量表示
6 画面位置表示（案内マーク）
7 画像の倍率
8 縮小液晶モニター
9 撮影日時
10 連写の再生
11 Eye-Fi 表示(送信)
12 赤目軽減
13 HDR
14 日付フォルダー

画面の切り替え表示

disp.ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

再生モード ▶

再生モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示　詳細の情報表示　情報表示なし

モードダイヤルの使用

コダックカメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードダイヤルが付いています。使用可能なモードについて、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます。
プログラム AE	P	このモードでは、最高の画像を得るために、選択した露出補正値に合わせて、カメラが自動的にシャッター速度と絞り値を設定します。
シャッター優先	S	設定したシャッター速度に応じて適正露出になるようにカメラが自動的に絞り値を設定します。シャッター速度を調整して被写体の動きを表現できます。
絞り優先	A	設定した絞り値に応じて適正露出になるようにカメラが自動的にシャッター速度を設定します。焦点の合う位置を調整して、深みのある画像を撮影できます。
手動モード	M	このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます。
美肌		肌の表面をなめらかに表現し、顔を美しく撮影するのに適しています。
パノラマモード		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真にします。
シーンモード	SCN	25種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます。
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます。
カスタム設定	CS	よく利用する撮影モードやパラメータを保存しておき、いつでも呼び出すことができ、このモードに切り換えることで、すばやく撮影することができます。

自動モード

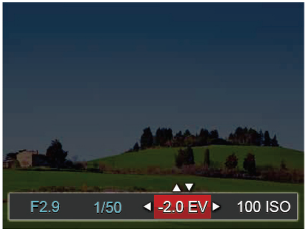
自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

1. カメラの電源スイッチをオンにします。
2. モードダイヤルを に合わせます。
3. 液晶モニターで被写体の構図を決めます。シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、被写体にピントを合わせます。
4. 被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。
5. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

プログラム AE

設定した露出補正値に合わせて、カメラは自動的にシャッター速度を設定します。露出補正値を変更した場合、シャッター速度と絞り値は露出補正値に合わせて変化します。

1. モードダイヤルを **P** に合わせ、 ボタンを押して、設定メニューが表示されます。

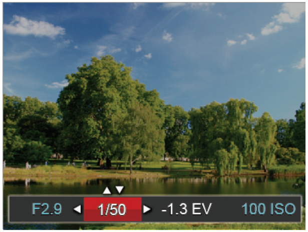


2. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

シャッター優先 S

シャッター速度を目的に合わせて設定できます。設定したシャッター速度に応じて適正露出になるようにカメラが自動的に絞り値とISO感度を設定します。シャッター速度を調整して被写体の動きを表現できます。動きの早い被写体は遅く、あるいは躍動感に満ちた画像を撮影できます。

1. モードダイヤルを **S** に合わせ、[EV] ボタンを押して設定メニューが表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

絞り優先 A

絞り値を目的に合わせて設定できます。設定した絞り値に応じて適正露出になるようにカメラが自動的にシャッター速度を設定します。焦点の合う位置を調整して、被写体の背景をぼかしたり、あるいは鮮明にすることができます。

1. モードダイヤルを **A** に合わせ、[EV] ボタンを押して、設定メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
4. [SET] ボタンを押して、設定を確定します。

手動モード M

撮影目的に合わせて絞り値とシャッター速度を設定できます。組み合わせにより、撮影範囲、条件などを広げたいときに使用します。

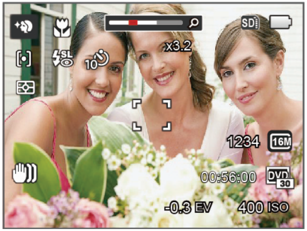
1. モードダイヤルを M に合わせ、 ボタンを押して、設定メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、設定メニューを選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、パラメータを調整します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

美肌

このモードは、人物の撮影にもっとも適しています。人物の肌色、やわらかさを自然に表現できます。

1. モードダイヤルを に合わせ、 ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、 を選択します。
3. 機能ボタン左/右を押して、3種類のメニューから選択することができます。



- 効果1：肌色
- 効果2：肌色＋目を明るく
- 効果3：肌色＋目を明るく＋目を大きく

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

パノラマモード

パノラマモードでは、カメラを移動（0～360°）させて、超広角なパノラマ写真を合成します。

1. モードダイヤルを に合わせます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、カメラを動かす方向を選択します。方向を選択しないで 2秒経過すると、自動的に初期設定と同様に左から右方向の撮影に設定されます。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを半押し、フォーカス後、全押しして、最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面下側に、赤地に案内 ⇒ が表示されます。

4. 設定した方向に沿ってカメラを移動させせます。順調に撮影が進むと、案内 ⇒ が少しづつ移動し、枠の端に到達したとき、撮影が完了します。

5. パノラマ画像は自動的に合成され、一秒間レビューで見ることができます。

撮影中は、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、露出補正の各モードは使用できません。又、フォーカス調整もできません。

撮影中に SET ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。機能ボタン下を押して、保存せずに撮影を終了することもできます。

撮影中、画面に「画面が一致しません もう一度やり直してください」と表示されたときは、構図を決めるときカメラの移動角度のズレが大きかったためです。撮影された画像は保存されます。

シーンモード SCN

シーンモードでは、状況に合わせて合計25種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. モードダイヤルを SCN（ **SCN** ）に合わせます。画面にはシーンモードメニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右、上/下を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

シーン	説明
ASCN 自動シーンモード	自動的にシーンを識別し、人物、逆光の人物、風景、マクロ、夜景、夜景と人物などに適した撮影をします。
風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で明るく鮮やかな写真が撮影できます。
夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します（三脚の使用を推奨します）。
夜景	夜景を撮影します（三脚の使用を推奨します）。
スケッチ	鉛筆で滑らかに描いたような写真が撮れます。
雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現します。
子供	障害を避けるため、自動的にフラッシュの発光を禁止します。子供の写真を撮るのに適しています。
IDカード	証明写真を撮るときに輪郭を鮮やかに写します。(6インチ×4インチ =10.2cm×15.2cm）の印画紙を用いて印刷することをお勧めします。
ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影します。
フォトフレーム	感動と楽しさを伝えることができます。

シーン	説明
流し撮り	被写体のスピード感をとらえ、背景は流れるように撮影します。
ポートレート	顔検出により人物撮影に適しています。
魚眼	魚眼効果を強調した写真が写せます。
パーティー	室内のパーティー会場で、照明の背景を生かして、楽しい雰囲気が伝わります。
室内	室内撮影用です。背景や周辺を鮮明にします。
植物	植物を撮影する際、緑が鮮やかに表現できます。
博物館	博物館やフラッシュが禁止されている場所でも明るく写ります。
夜景ポートレート	人物の顔は明るく、夜景もキレイに写します。
ペットモード(犬)	素早くペット（犬）を認識し、犬の気ままな動きを写せます。
ペットモード(猫)	素早くペット（猫）を認識し、猫の瞬間の動きを写せます。
白黒	さまざまな色で楽しい写真の撮影ができます。
多重露光	高速連写機能により、動く被写体の一連の動作を分解して1枚の写真に合成します。

自動シーンモード (ASCN)

ASCNモードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

1. モードダイヤルを SCN に合わせます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、液晶画面に表示されている各シーンから ASCN を選択し、 SET ボタンを押して、設定を確定します。
3. カメラを被写体に向けると撮影シーンを自動的に判別して、最適なモードを選択します。
4. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体の中央にピントを合わせます。
5. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

モード名	説明
風景	風景写真の場合、ASCNは背景に一致するように露出を自動的に調整します。
ポートレート	人物撮影の場合、ASCNは人物の肌を美しく自然に仕上げ、適切な露出で撮影します。
夜景ポートレート	夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、ASCN は人物と背景の明るさを最適に自動調整します。
逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、ASCN は前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。
夜景	夜景の場合、ASCNはISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
マクロ	小さな被写体をアップで撮影できるように ASCN は自動的にピントを合わせます。
自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

白黒

白黒モード の中で、異なる白黒効果の写真を撮影できます。

1. モードダイヤルを SCN に合わせます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、液晶画面に表示されている各シーンから を選択し、 ボタンを押して、 ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、白黒メニューから選択することができます。

4. ボタンを押して、設定を確定します。

8 種類のメニューから選択することができます。

- 白黒
- 白黒+HDR
- セピア色
- 色分解 (赤色)
- 色分解 (黄色)
- 色分解 (青色)
- 色分解 (緑色)
- スタジオ

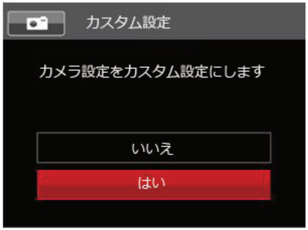
色分解によるおもしろい画像を楽しめます。

カスタム設定 CS

よく利用する撮影モードやパラメータを保存しておき、いつでも呼び出すことができ、このモードに切り換えることで、すばやく撮影することができます。

1. 保存する撮影モードを選択します。
2. 選択したモードのパラメータを設定します。
3. ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、を選択し、SET ボタンを押してセットアップメニューに入ります。
4. 機能ボタン上/下を押して、を選択し、SET ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
5. 機能ボタン下を押して、「カスタム設定」を選択し、SET ボタンまたは機能ボタン右を押して、カスタム設定画面が表示されます。

6. 「はい」を選択して保存するか、「いいえ」を選択して取り消します。



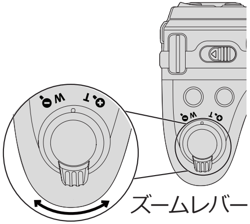
7. モードダイヤルを CS に合わせます。
8. 保存した設定が呼び出されます。

工場出荷時の設定は、プログラムAEになっています。

カスタム設定では、最後に設定した撮影モードとパラメータのみが保存されます。

ズーム機能を使用する

カメラには、光学ズームとデジタルズームの2種類のタイプのズームが装備されています。カメラ上面部のズームレバーを回して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。



ズームインジケーター（57頁のデジタルズームを参照してください）

デジタルズームがオンに設定されている時は、光学ズームが最大値の36倍に達すると停止します。一旦ズームレバーから指を離し、再度同じ方向に回すと自動的にデジタルズームに切り替わります。

AFモード

1. **AF** ボタンを押して、AFモード機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、3種類のメニューから選択することができます。
   - シングル AF：AFフレームが液晶モニターの中央に表示されると、被写体に焦点が合います。
   - マルチ AF：カメラは焦点を見つけるために、広い領域で被写体に自動的に焦点を合わせます。
   - 自動追尾 AF：被写体が動いてもカメラが自動的に追尾して焦点を合わせます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

自動追尾 AFを使用するとき、AFフレームの形状も切り替わります。

マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1. ボタンを押して、マクロモード機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、2種類のメニューから選択することができます。
   - マクロ：オフ
     マクロ機能をオフにします。
   - マクロ：オン
     マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

セルフタイマーモード

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1. ボタンを押して、セルフタイマー機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、4種類のメニューから選択することができます。

   - セルフタイマー：オフ
     セルフタイマー機能をオフにします。

   - セルフタイマー：2秒
     シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

   - セルフタイマー：10秒
     シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーが作動して、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

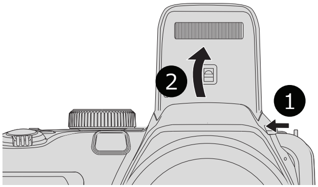
   - セルフタイマー：笑顔
     笑顔を検出するとシャッターが切れます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

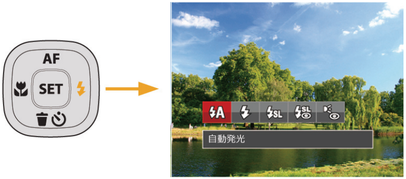
フラッシュモード

暗い環境の中、あるいは逆光のときはフラッシュを使用することが有効です。被写体の位置、背景、明るさなどを考慮して適切なモードを選択してください。

1. フラッシュポップアップボタン を押して、フラッシュをポップアップさせます。



2. ボタンを押して、フラッシュ機能メニューが表示されます。



3. 機能ボタン左/右を押して、5種類のメニューから選択することができます。
   - 自動発光
     カメラは、逆光および明るさに基づいてフラッシュを自動的に制御します。
   - 強制発光
     すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
   - スローシンクロ
     夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
   - スローシンクロ＋赤目軽減
     スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
   - 赤目軽減
     予備発光を行い、目が赤く写る現象を軽減します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

ホワイトバランス

ホワイトバランスでは、色合いを正確に再現できるように、さまざまな光源の下の色温度などを調整します(WB設定はカメラが **P S A M** モードに入っているときのみ使用できます)。

1. SET ボタンを押して、ホワイトバランス機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、8種類のメニューから選択することができます。

- 自動
- 晴天
- 曇天
- 蛍光灯
- 蛍光灯 CWF
- 白熱電球
- 手動
  調整する
  シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。
- 色温度（1900K～10000K）
  調整する
  機能ボタン上を押し、機能ボタン上/下を押して、色温度を調整することができます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

連写

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、各条件の範囲で連写を行います。

1. ボタンを押して、連写機能メニューが表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、5種類のメニューから選択することができます。

- 一枚撮り
  1コマのみ撮影します。
- 連写
  シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。
- 超高速連写 (VGA)
  VGAサイズで、最大60枚／秒で、最大120枚まで連続撮影できます。
- 高速連写 (4M)
  4Mサイズで、最大30枚/秒で、最大60枚まで連続撮影を行ないます。
- インターバル撮影
  事前に設定した撮影間隔で自動的に連続して撮影します。

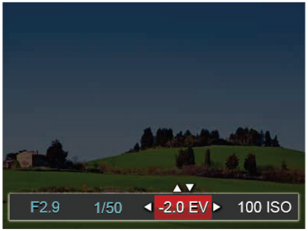
3. インターバル撮影を選択したときは、機能ボタン上/下を押して、撮影間隔（30秒、1分、5分、10分）を選択することができます。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。
5. シャッターボタンを全押ししている間、連写を行ないます。

連写を設定してある時は、フラッシュは機能しません。

機能設定

各機能を最適な条件に設定することで、より本格的な撮影を楽しめます。

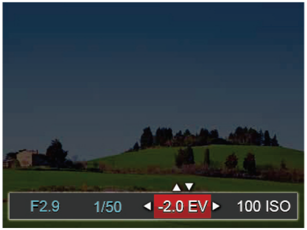
1. ボタンを押して、設定メニューが表示されます。
2 機能ボタン左/右を押して、機能メニューを選択します。



3. 機能ボタン上/下を押して、値を設定します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

露出補正

画像の明るさを調整できます。被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が極めて大きい場合に、適正の明るさになるように調整します（露出補正の設定はカメラが、P、S、A、、モードに入っているときのみ使用できます）。



露出値の調整可能範囲は、EV-3.0からEV+3.0です。

動画モードでも露出補正を調整することができます。

ISO感度

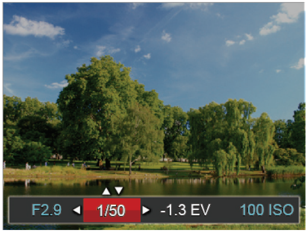
ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります（ISO感度の設定はカメラが、 P、A、M、 モードに入っているときのみ使用できます）。

ISO感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

ISO感度の調整可能範囲は、自動、100、200、400、 800、1600、3200です。

シャッター速度

動きのある被写体を撮影する時、シャッター速度を意図的に速めると被写体が、一瞬止まったように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動く被写体の軌道が流れるように撮影でき、感動を与えてくれます（シャッター速度の設定はカメラが、 M、 Sモードに入っているときのみ使用できます）。



シャッター速度の調整可能範囲は、1/2000秒～30秒です。

絞り値

絞り値を目的に合わせて設定できます。設定した絞り値に応じて適正露出になるようにカメラが自動的にシャッター速度を設定します。焦点の合う位置を調整して、被写体の背景をぼかしたり、あるいは鮮明にすることができます（絞り値の設定はカメラが、**A**、**M** モードに入っているときのみ使用できます）。

絞り値の調整は、F2.9、F3.9、F5.3、F7.2です。

動画撮影ショートカット

動画ボタン ● を押すと、素早く動画モードに切り替わって録画を開始します。

動画撮影を終了するには、動画ボタン ● あるいはシャッターボタンを全押しすると、動画を保存して、撮影画面に戻ります。

iボタンの機能メニュー

色彩を変えることにより、画像にアート効果が追加されます。さまざまな色の組み合わせを試みて、画像の雰囲気を変えることができます(色彩の設定はカメラが P S A M モードに入っているときのみ使用できます)。

1. 撮影モードで i ボタンを押します。

2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

撮影モード P S A M では、5種類のメニューから選択することができます。

- 普通
- 鮮明
- ぼかし
- スタジオ
- ドリーム

動画モード では、4種類のメニューから選択することができます。

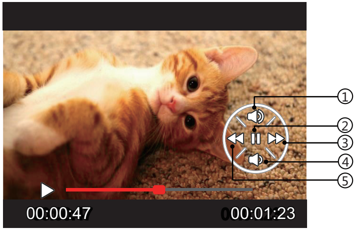
- 普通
- 鮮明
- セピア色
- 白黒

静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態で、▶ ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、SET ボタンを押して動画再生モードに入ります。

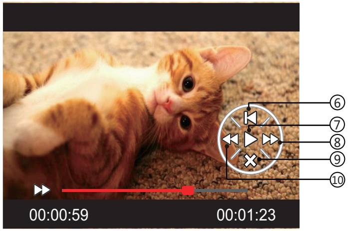
動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と SET ボタンを押して、操作機能の変更ができます。



下記に操作機能を表示してあります。

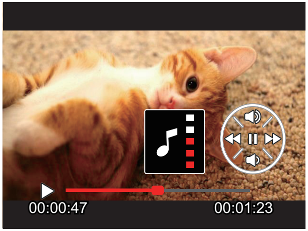
1	音量を上げる	4	音量を下げる
2	一時停止	5	巻き戻し
3	早送り		

下記に一時停止後の操作機能を表示してあります。



6	最初のコマに戻る	9	再生取消
7	再生の再開	10	巻き戻し
8	早送り		

動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し、消音になるとき、 が表示されます。



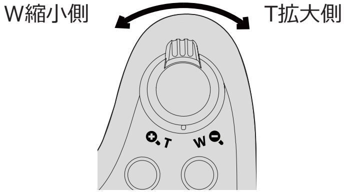
下記に操作機能を表示してあります。

1.音量を上げる

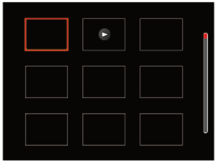
2.音量を下げる

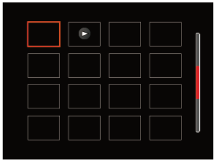
サムネイルビュー

再生モードでズームレバーを W 側に回すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

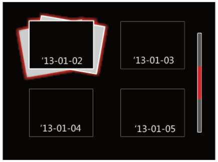


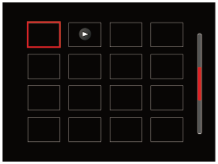
1. ズームレバーをW側に回すと、3x3（9コマ）のサムネイル画像が表示されます。さらに回すと、4x4（16コマ）のサムネイル画像が表示されます。
2. 機能ボタン上/下、左/右を押して、静止画または動画を選択することができます。 SET ボタンを押すと、再生画面に戻ることができます。





3. 再生モードで、「静止画撮影モード」、「日付モード」、「連写モード」を再生するには、 ⓘ ボタンを押します。





4. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択し、 SET ボタンを押します。

日付フォルダーは撮影の日付の順番で表示します。

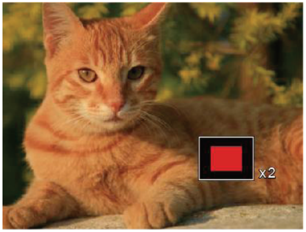
液晶モニターに ▷ のアイコンが表示されるときは動画画像です。

サムネイル画像を選択した後、 SET ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。

画像を拡大する（静止画専用）

ズームレバーは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1. ▶ ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームレバーを T 側に回して画像を拡大すると、液晶モニター右下に倍率（2.0X）が表示されます。また、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、赤色）が表示されます。機能ボタン上/下、左/右を押して、お好みの場所を見ることができます。
4. 拡大した画像を縮小するときは、 SET ボタンを押します。またズームレバーをW側に繰り返し回しても画像を縮小できます。



動画は拡大できません。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 撮影モードで ボタンを押します。
2. スライドショーを見るには SET ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、取消あるいは3種類のメニューから選択することができます。

- 効果1：間隔1秒
- 効果2：間隔1秒
- 効果3：間隔1秒

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

連続撮影グループ再生では、スライドの再生モードにすることができます。

連写の再生

超高速連写（VGA）と高速連写（4M）で撮影した画像を再生して見ることができます。

1. 撮影モードで ボタンを押します。
2. 機能ボタン左/右を押して、連写グループを選択します。
3. プレーを開始するには、SET ボタンを押してください。

画像を消去する方法

再生モードで、消去機能ボタン下（🗑⏲）を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. ▶ ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 機能ボタン下(🗑⏲)を押すと消去画面が表示されます。

4. 機能ボタン上/下を押して、「1枚消去」または「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

消去された静止画/動画は回復することができません。

すべての画像を一括消去する、または日付フォルダーごと消去する方法は66ページをごらんください。

静止画メニュー

撮影モードアイコン: P S A M SCN

撮影モードで ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

変更するセットアップメニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、素早く切り換えることができます。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- 中央部重点

AiAE:画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

8種類のメニューから選択することができます。

16M：超高品質印刷
14M：高品質印刷
12M：フルサイズ印刷
10M：A3ノビサイズ印刷
5M：A4印刷
3M：A4以下印刷
2M：A5印刷
0.3M：電子メール

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。 記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

手ブレ補正

手ブレ補正は、暗い時またはシャッタースピードが遅いときに発生する手ブレ及び被写体ブレの影響を軽減します。

手ブレ補正は暗い場所、またはスローシャッターで撮影するときにお勧めします。

風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

コンティニュアス AF

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。

2種類のメニューから選択することができます。

- コンティニュアスAF：オフ
- コンティニュアスAF：オン

HDR

静止画を撮影するときに、このハイダイナミックレンジ補正をお使いください。明るい部分は明るく、暗い部分では対象物の輪郭を強調した深みのある写真が撮れます（三脚の使用を推奨します）。

2種類のメニューから選択することができます。

- HDR：オフ
- HDR：オン

パノラマ、美肌、シーンモードでは、HDRを設定できません。

自動シーンモード ASCN

ASCNモードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

- 撮影モードでの各メニュー (o：選択できる　x：選択できない)

メニュー	撮影モード						
		P	S	A	M		SCN
	o	o	o	o	o	o	o
16M	o	o	o	o	o	o	o
	o	o	o	o	o	o	x
	o	o	o	o	o	o	x
HDR OFF	o	o	o	o	o	x	x
	x	x	x	x	x	o	x
ASCN	x	x	x	x	x	x	o

設定メニュー

撮影モードアイコン： P S A M SCN

1. 撮影モードで ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 SET ボタンを押します。

2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
3. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮比を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、記録する枚数は少なくなります。

3種類のメニューから選択することができます。

- 精細（ 16M 平均サイズ：3.5MB)
- 標準（ 16M 平均サイズ：1.5MB)
- 普通（ 16M 平均サイズ：2.5MB)

AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。

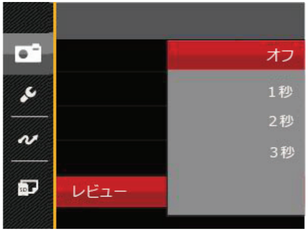
日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。

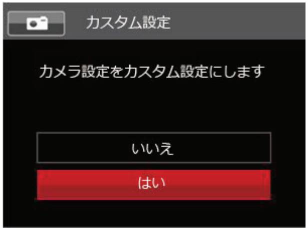


4種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 1 秒
- 2 秒
- 3 秒

カスタム設定

よく利用する撮影モードやパラメータを保存して、すばやく撮影できます。



2種類のメニューから選択することができます。

- はい
- いいえ

動画メニュー

動画モードアイコン：

1. モードで ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

測光方式

この設定により、明るさを測定する範囲を選択します。

3種類のメニューから選択することができます。

- AiAE
- スポット
- 中央部重点

AiAE:画面中央部および周辺の明るさを測定して、適正露出が得られるように自動的に値を設定します。

画像サイズの設定

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。

高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

No.	画像サイズ	駒/秒	推奨	録画時間（4 GB）
1	1920x1080	30	Class 6	約30分
2	1280x720	60	Class 6	約30分
3	1280x720	30	Class 4	約35分
4	640x480	30	Class 4	約50分
5	320x240	30	Class 4	約80分
6	640x480	120	Class 6	約50分

1280x720 30 fps以上のサイズの録画時間は最長29分です。

高画質で動画撮影中に、カメラ内部の温度が上昇して、自然に中断することがありますが、これは故障ではありません。

動画の画像サイズを640x480 (120fps)に設定すると、撮影時間は30秒、再生は2分となります。

手ブレ補正

手ブレ補正は、暗い時またはシャッタースピードが遅いときに発生する手ブレ及び被写体ブレの影響を軽減します。

手ブレ補正は暗い場所、またはスローシャッタースピードで撮影するときにお勧めします。

風の強い場所や不安定な場所（動いている乗り物の中など）で撮影すると、ブレが生じることがあります。

動画設定メニュー

モード：

1. モードで ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。

3. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

デジタルズーム

デジタルズームをオンまたはオフにします。

再生メニュー

モード：▶

1. 再生モードで ▤ ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、変更するセットアップメニューを選択します。
3. SET ボタンを押して、メニューに入ります。

4. 機能ボタン左/右を押して、メニューを選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

HDR

HDR機能では、撮影した画像の露出、コントラスト不足などにより発生した、画像ムラ、明暗を補正して最適な画像にします。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して編集する静止画を選択します。
2. ▤ ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、HDR を選択し、 SET ボタンを押して、メニューに入ります。
3. 機能ボタン左/右を押して、HDRを使用するかどうかを選択します。

✓：HDR　　✗：取消

4. HDR最適化した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

赤目軽減

カメラには赤目軽減の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を軽減します。又顔をより美しくする機能もあります。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、人物画像の静止画を選択します。
2. ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. SET ボタンを押し、赤目軽減、肌色、目を明るく、目を大きく、あるいは取消を選択します。

：赤目軽減　：肌色　：目を明るく

：目を大きく　：取消

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に軽減できます。

動画画像は赤目軽減ができません。

画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像回転する静止画を選択します。
2. ボタンを押して、セットアップメニューから を選択します。
3. SET ボタンを押し、「右回転」、「左回転」、「取消」を選択します。

：右回転　：左回転　：取消

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

回転して変更した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

動画ファイルは向きを回転させることができません。

画像サイズの変更（リサイズ）

この設定により、画像を指定した解像度にサイズ変更し、それを新しい画像として保存することができます。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、画像のサイズ変更する静止画を選択します。
2. ボタンを押して、セットアップメニューからを選択します。
3. SET ボタンを押し、「1024X768」、「640X480」、「取消」を選択します。

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

サイズ変更した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

元の画像サイズが、「640X480」より小さい場合は、サイズ変更することはできません。

回転して方向変更した画像はサイズ変更できません。

パノラ マ画像は、サイズ変更できません。

色彩

この設定により、色彩を変更できます。画像にアート効果が追加され、さまざまな色の組み合わせを楽しめます。変更した画像は、新しい写真として元の画像と共に保存されます。

1. 再生モードで、機能ボタン左/右を押して、色彩変更する静止画を選択します。
2. ボタンを押して、セットアップメニューからを選択します。
3. SET ボタンを押し、機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

：取消	：粒状
：鮮明	：ぼかし
：セピア色	：スタジオ
：白黒	：ドリーム

再生設定メニュー

モード: ▶

1. ▶ モードで ▤ ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 ▤ を選択し、 SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。

3. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押し、機能ボタン上/下を押して、設定メニューを選択します。
4. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
5. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
6. SET ボタンを押して、設定を確定します。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して「保護」を選択し、 SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。

2. 機能ボタン上/下を押して、5種類のメニューから選択することができます。

- 一枚： 選択した画像を保護します。
- 日付フォルダー: 日付フォルダー内の画像を保護します。
- 連写グループ： 連写グループ内の画像を保護します。
- すべて： すべての画像を保護します。
- リセット： すべての画像の保護を解除します。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

消去

4種類のメニューから選択することができます。

1. 機能ボタン上/下を押して、「消去」を選択し、SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、4種類のメニューから選択することができます。
   - 一枚： 選択した画像を消去します。
   - 日付フォルダー: 日付フォルダー内の画像を消去します。
   - 連写グループ： 連写グループ内の画像を消去します。
   - すべて: すべての画像を消去します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

連写グループと日付フォルダーで、消去を選択した場合、保護されている画像以外はすべて消去されます。

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOF により印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。

3種類のメニューから選択することができます。

- 一枚： プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて： すべての画像をプリント予約します。
- リセット： プリント予約を解除します。

印刷には、DPOF対応プリンターをご使用ください。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. セットアップメニューからトリミングを選択します。
2. 機能ボタン左/右を押して、トリミングする静止画を選択し、機能ボタン上/下を押して、「はい」あるいは「取消」を選択します。
3. 「はい」を選択して、SET ボタンを押します。
4. ズームレバーと機能ボタン上/下、左/右を押して、トリミング範囲を調整します。

5. SET ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。 ✓ あるいは ✕ を選択して、SET ボタンを押して、設定を確定します。

画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

回転して方向変更した画像はトリミングできません。

カメラ設定メニュー

モード: P S A M SCN

すべてのモードで ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、 を選択し、SET ボタンを押します。次に機能ボタン上/下を押して、 を選択します。

1. SET ボタンあるいは機能ボタン右を押して、設定メニューが表示されます。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下あるいは左/右を押して、メニューを選択します。機能ボタン左を押して、セットアップメニューに戻ることもできます。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

変更する機能メニューを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

操作音

電源オン/オフ時の操作音およびシャッター作動音を調整することができます。設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. 設定メニューから操作音を選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューから、機能ボタン左/右を押して、メニューを選択します。
   - オフ
   - トーン1
   - トーン2
   - トーン3

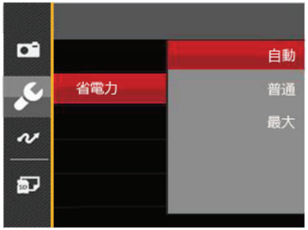
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

トーンを変更することにより、電源/シャッター音が同時に切り替わります。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。以下のステップに従って液晶画面をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に停止状態になります。

1. 設定メニューから省電力を選択します。
2. サブメニューには「自動」、「普通」、「最大」が表示されます。



3. 機能ボタン上/下を押して、メニューを選択します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

言語設定

18ページの「言語設定」を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

1. 設定メニューからワールドタイムを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン上/下を押して、現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。都市を設定するだけで時差は自動的に処理されます。

日時設定

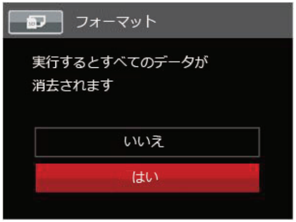
19ページの「日時設定」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

フォーマット

フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。

1. ボタンを押し、機能ボタン上/下を押してを選択し、SET ボタンを押してメニューに入ります。
2. 機能ボタン上/下を押してを選択し、SET ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して「フォーマット」を選択し、SET ボタンまたは機能ボタン右を押してメニューに入ります。
4. 機能ボタン上/下を押して「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。



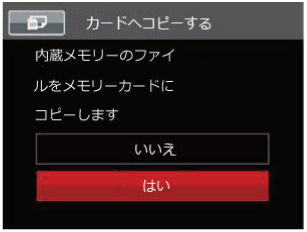
5. 「はい」を選択した場合、メモリーがフォーマットされます。

新しいメモリーカードを使用するとき、または メモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

1. 設定メニューからコピーを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

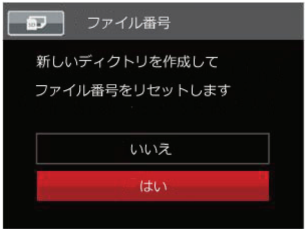


カメラにメモリーカードを装填しない場合は、「カードへコピーする」項目は表示されません。

ファイル番号

静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを 1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます（メモリーカード内のファイルが、9999を越えて、最後のファイルの写真が、999枚を越えた場合、「メモリーカードに残量がありません。新しいカードに交換してください。」と警告が表示されます）。

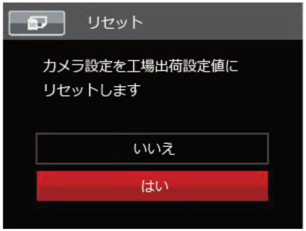
1. 設定メニューからファイル番号を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。



リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

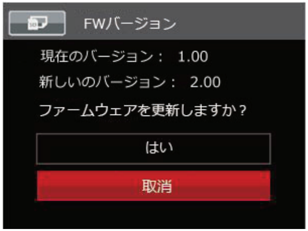
1. 設定メニューからリセットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。



FWバージョン

この設定により、現在のカメラのファームウェアバージョンの表示または更新します。

1. 設定メニューからFWバージョンを選択します。



2. 新ファームウェアバージョンをインストールした時は、画面に新バージョンが表示されます。
3. 画面に新ファームウェアバージョンが表示されたときは、「はい」または「取消」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

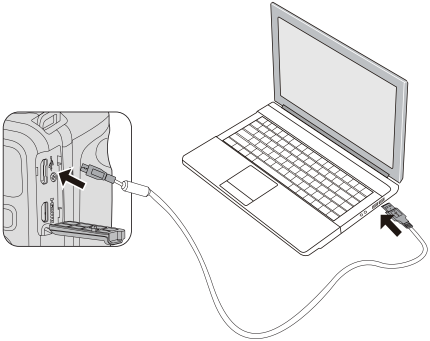
1. [ボタン] ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、[アイコン] を選択し、SET ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、[アイコン] を選択し、SET ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AV端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。



4. 送信が完了したら、USB機器の安全な取り外し方法が記載してある取扱説明書に従ってUSBケーブルを取り外します。

ビデオシステム

この設定を使用して、所在地のビデオシステムを設定します。

1. ボタンを押し、機能ボタン上/下で、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
3. 機能のボタン上/下を押し、ビデオシステムを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択します。
4. ボタンを押して、設定を確定します。

地域によって2つのビデオ出力信号「NTSC」または「PAL」に適応しています。

NTSC: 米国、カナダ、台湾、日本など。

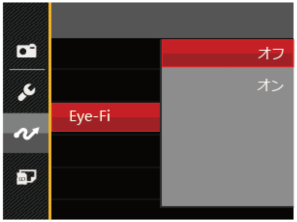
PAL: ヨーロッパ、アジア(台湾を除く)、オセアニアなど。

正しいビデオシステムが選択されていない場合、TV出力は正しく表示されません。

Eye-Fi SD カード接続モード

このカメラは、Eye - FiSDカードの無線接続をサポートしています。次の手順でインターネットあるいはパソコンなどに写真をアップロードすることができます。

1. ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、 を選択し、 ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、Eye-Fiを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「オフ」あるいは「オン」を選択します。



使用する前に、Eye-Fiカードの取扱説明書をよくお読みください。

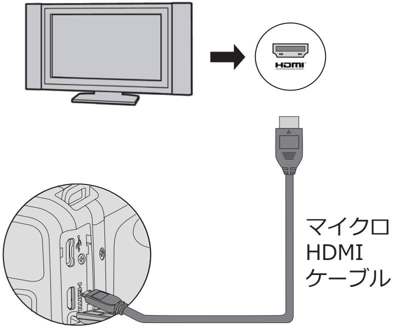
Eye-Fiカードを海外で使用する場合、その国の法律にしたがってご使用ください。

使用を禁止されている場所（飛行機等）では、送信設定を「オフ」にしてください。

HDMI接続のサポート

HDMI(ハイ ディフィニション マルチメディア インターフェイス)は完全なデジタルビデオ/オーディオ送信インターフェイスで、これを通して圧縮されていない音声および画像信号が送信されます。

テレビにデジタルビデオ信号を直接送信することにより、変換損失を抑え、それによって画質を向上させることができます。



カメラをHDMI TVに接続する

1. マイクロ HDMI ケーブル（別売り）を使用して、カメラをHDMI 付き TV に接続します。
2. カメラが自動的に検出し、現在の解像度を判断します。
3. HDMIを接続した後、画像の再生モードに入ってください。

接続する前にテレビとカメラの電源をオンにしてください。

テレビが特定解像度と出力形式に対応していない場合、対応するオプションが淡色表示されます。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

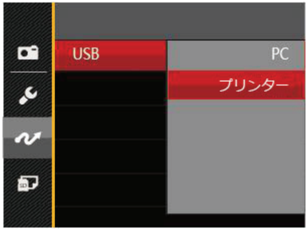
PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

1. ボタンを押し、機能ボタン上/下を押して、を選択し、 SET ボタンを押します。
2. 設定メニューで、機能ボタン上/下を押して、を選択し、 SET ボタンを押します。
3. 機能ボタン上/下を押し、USBを選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

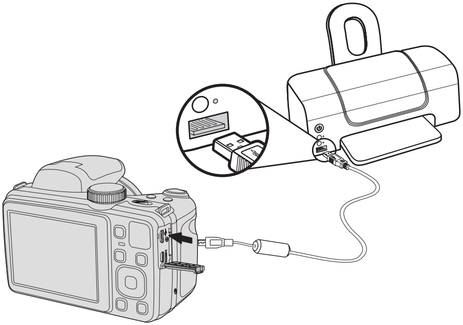


カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

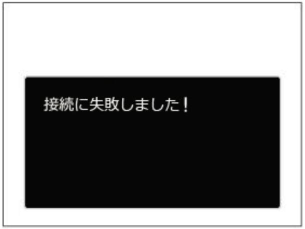
PictBridgeメニューの設定は、80ページを参照してください。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。



カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。



USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類のメニューが表示されます。

1. 日付印刷
2. 日付なし印刷
3. サムネイル画像を印刷する
4. DPOF画像を印刷します
5. USBケーブルを取り消す

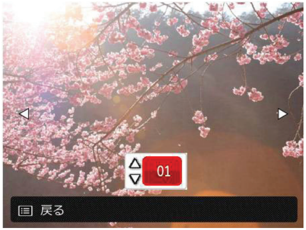
機能ボタン上/下を押して、PictBridgeメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. メニューから「日付印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。

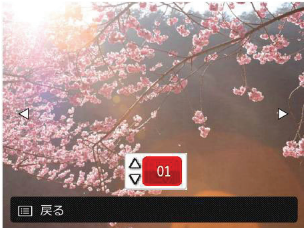
4. SET ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. メニューから「日付なし印刷」を選択すると次の画面が表示されます。



2. 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。

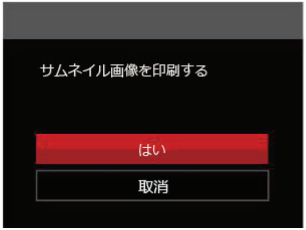
4. SET ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 SET ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像を印刷する

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. メニューから「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。



2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。
「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 SET ボタンを押して、設定を確定します。

DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください（67ページのDPOFを参照してください）。

1. メニューから「DPOF画像を印刷します」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。 SET ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り外す

メニューを終了するには、「戻る」を選択します。「USB ケーブルを外してください」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

仕様

外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。

カメラ部有効画素数		1638万画素
撮像素子		1/2.3型CMOS（総画素数 1679万画素）
レンズ	焦点距離	4.3～154.6mm
	35mmフィルム換算	24～864mm
	開放F値	F2.9～F5.7
	レンズ構成	14群 16枚
	光学ズーム	36倍
	撮影範囲	通常撮影 (W) 60cm～∞、(T) 290cm～∞ マクロ撮影 5cm～∞(Wのみ)
手ブレ補正		光学式手ブレ軽減
デジタルズーム		4倍（光学36倍と併用して最大144倍）

記録画素数（画像サイズ）	静止画	(4:3) 16MP: 4608×3456 10MP:3648×2736 5MP: 2592×1944 3MP: 2048×1536 0.3MP: 640×480	(3:2) 14MP: 4608×3072	(16:9) 12MP: 4608×2592 2MP: 1920×1080
	動画	1920×1080(30fps)、1280×720(60fps)、1280×720(30fps)、640×480(30fps)、320×240(30fps) 高速モード:640×480(120fps)		
画質		精細、標準、普通		
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○		
ファイル形式	静止画	Exif 2.3 (JPEG)		
	動画	画像圧縮:MOV (H.264)、音声:G.711 [Monaural]		
撮影モード		自動モード、プログラムAE、シャッター優先、絞り優先、手動モード、美肌、パノラマモード、シーンモード[自動シーンモード、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、スケッチ、雪、子供、IDカード、ガラス越し、フォトフレーム、流し撮り、ポートレート、魚眼、パーティー、室内、植物、博物館、夜景ポートレート、ペットモード(犬)、ペットモード(猫)、白黒、多重露光]、動画モード、カスタム設定		
検出機能		顔、笑顔、まばたき、ペット		

画像編集	赤目軽減、美肌、目鮮やか、目元くっきり
HDR	○（後処理)
パノラマ	0°～360°
液晶モニター	3.0インチ TFTカラー液晶モニター (460,800 ピクセル)
ISO感度	自動, ISO 100/200/400/800/1600/3200
AF方式	シングルAF、マルチAF, (TTL 9ポイント)、自動追尾AF、顔検出
測光方式	AiAE、スポット、中央部重点、顔AE
露出制御方式	プログラムAE（AEロック可能)、シャッター優先、絞り優先
露出補正	±3 EV(1/3ステップ刻み)
シャッター速度	4～1/2000秒 (手動 30秒)
連写	約 5 枚/秒（最大画素）
再生モード	静止画、サムネイル（9/16）、スライドショー、撮影日付、 連写グループ、ズーム (約 2倍~8倍)、動画
ホワイトバランス	自動、晴天、曇天、蛍光灯、蛍光灯 CWF、白熱電球、手動、 色温度の設定（1900K～10000K）

フラッシュ	フラッシュ方式	Pop-up
	フラッシュモード	自動発光/赤目軽減発光/強制発光/スローシンクロ/ 赤目軽減発光+スローシンクロ
	撮影範囲	(ワイド) 約 0.5m～7.5m (ISO800) (テレ) 約 1.2m～4.4m (ISO800)
記録メディア		内蔵メモリー: 8 MB
		SDカード/SDHCカード(32GBまでサポート) [MMC カードサポートなし]
その他の機能		PictBridge、Exif印刷サポート、多言語のサポート（27言語）
入出力端子		AV-OUT/USB 2.0 (Micro 5 pin USB)、HDMI（Type D）
Eye - Fi サポート		○
電源		充電式 Li-ion電池 LB-060, 3.7V 1100mAh、（本体装填で充電可）
撮影枚数（電池寿命）		約 210 ショット （CIPA標準に基づく）
動作環境		温度：0～40℃ 湿度：90%以下（結露しないこと）
寸法(幅 x 高さ x 奥行き)		約 112.7×81.6×76.7mm
質量		約 416g (本体のみ)

エラーメッセージ

メッセージ	説明
カードエラー	• メモリーカードの画像フォーマットを識別または読み込みできません。 • 新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
メモリーカード残量なし	• メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。
ファイル番号が最大値になっています	• SDカードのファイル番号が最大値（９９９）に達すると、カメラの起動時間が遅くなる可能性があります。ご使用の前に、必要な画像はパソコンに保存してから、カメラでSDカードをフォーマットしてください。
書き込み保護	• メモリーカードが書き込み保護されています。 • ＳＤカードの書き込み保護スイッチのロックを解除してください。
ピクチャーエラー	• 画像が正しく記録されていません。 • 画像が損傷しています。
画像がありません	• メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。
レンズエラー	• レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。
システムエラー	• 予期せぬエラーが発生しました。
画像が保存できない	• メモリーカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。

メッセージ	説明
カードがフォーマットされていません フォーマットしますか?	• メモリーカードのフォーマットを確認してください（フォーマットの詳細は、71ページをご参照してください）。
画像を消去できません	• 消去しようとしている静止画や動画が書き込み保護されています。
動画を録画できません	• メモリーカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。
警告 カメラ録画中　お待ちください	• 動画/音声の録画中、他の操作は実行できません。
警告 バッテリーがありません	• 電池が充電切れです（充電式 Li-ion電池）。
ファイルを再生できません	• 画像（メモリーカード）がカメラで認識できません。
接続なし	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷エラー	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷できません	• プリンターが用紙またはインク切れでないことを確認してください。 • プリンターの用紙が詰まっていないかどうか確認してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	• 電池切れです。 • 電池が正しく装填されていません。	• 新しい電池に交換してください。 • 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 • 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を装填します。
操作中にカメラが突然オフになる。	• 電池切れです。	• 新しい電池に交換してください。 • 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	• レンズが汚れています。 • 手ブレ、被写体ブレになっています。	• 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。 • OIS 手ブレ補正を有効します。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	• メモリーカードの残量がありません。	• メモリーカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードのロックを解除してください。
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	• メモリーカードの残量がありません。 • ファイルを保存する空き容量がありません。 • 再生モードになっています。	• メモリーカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードがロックされています。 • モードダイヤルを に合わせます。

問題	考えられる原因	解決法
接続したプリンターから画像を印刷できない。	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。 • プリンターがPictBridge互換でありません。 • プリンターが用紙またはインク切れです。 • 用紙詰まりです。	• カメラとプリンターの接続を確認してください。 • PictBridge互換プリンターを使用してください。 • プリンターに用紙を補給してください。 • プリンターのインクカートリッジを交換してください。 • 詰まっている用紙を取り除いてください。
メモリーカードの書き込み速度が遅い。	• クラス4以下のメモリーカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	• SDHCカードを使用する。または、このメモリーカードをフォーマットしてください。
メモリーカードに書き込むことができません。	• メモリーカードが書き込み保護されています。 • 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。	• カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。 • ハイクラスのメモリーカード（Class 6以上）に切り替えてください。
日付フォルダーの再生はできません。	• 日付フォルダーで再生する時、メモリーカードに保存されている画像数あるいはフォルダー数が規格を越えた場合は、日付フォルダーの再生はできません。	• 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードにある一部分の画像を他の場所へ移動して保存してください。

ライセンス商品

コダックの商標およびトレードドレスは、
コダックのライセンスに基づき使用されます。

© 2013 by JK Imaging Ltd. All rights reserved.

JK Imaging Ltd. 1411 W. 190th Street, Suite 550,
Gardena, CA 90248, USA

www.kodakcamera.jkiltd.com